

ヒーローズ HEROES

柴田圭哉 ③

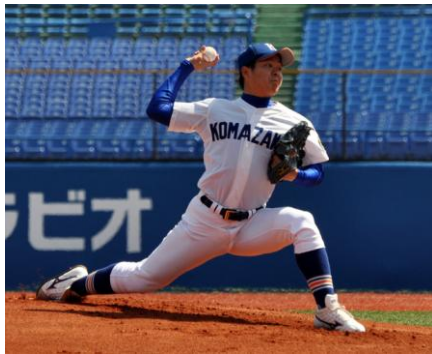
「結果が出てホッとした」と、安堵の表情を浮かべた柴田圭哉(商4)。

青学大1回戦、5-5の同点で迎えた6回の2死二、三塁で代打を告げられ打席へ。エース・白崎勇氣(営4)が本調子ではない中、粘投を続けていた。「ストライクゾーンの球は全部振ろうと思っていた」と、2球目を左前へ運び、勝ち越しの2点適時打に。「白崎(勇)が苦しい時に手助けできて良かった」と、エースの力投に応え、チームの勝利に貢献した。柴田は開幕戦でも代打で適時打を放ち、勝負強さをアピール。主将・岡将吾(法4)も、「なにかやってくれるんじゃないかと思っていた」と、同期の活躍を喜んだ。

今は相手投手により出場機会が異なるが、「スタメンで出たい」と闘志を燃やす。ここまでリーグ戦17試合に出場しているが、スタメン出場は今季の青学大2回戦を含めてわずか3回。打ってよし、走ってよしの柴田のラストイヤーは、ここから快進撃が始まる。(梶島 知佳)



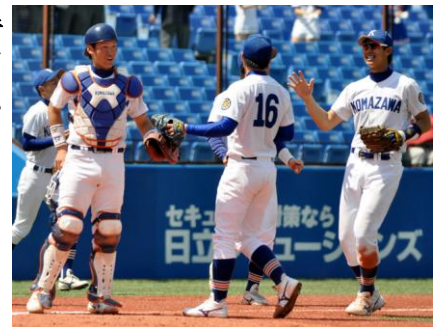
◆しばた けいや /1989年4月27日生まれ。筑陽学園高出身。174㌢74キ。右投左打。外野手。経済学部商学科4年。



⑩ 井口拓皓

負け投手の汚名返上。井口拓皓(経3)が1部での登板2戦目にして完封勝利を挙げた。被安打4、無四球、101球での快投。前回とは違う井口がマウンドに立っていた。

前週の中大2戦目での先発。6失点で負け投手となった。「中大打線は別に。僕自身が…」と言葉を濁したが、「白崎(勇)さんだけのピッチャーとはいわれたくない」という思いが井口を変えた。小椋正博監督と共に中大戦後は練習の日々。それを身近で見てきた捕手の戸柱恭孝(現3)は、「井口を勝たせてあげたい。やればできる男だから」という言葉を口にしていて。チームメイトからも慕われている井口が、今後勝ち点のかかった試合でのキーマンになることは間違いない。(堀江 あゆみ)



◆いぐち たくあき/1990年1月16日生まれ。市立川越高出身。175㌢79キ。右投右打。投手。経済学部経済学科3年。

やればできる男だから」という言葉を口にしていて。チームメイトからも慕われている井口が、今後勝ち点のかかった試合でのキーマンになることは間違いない。(堀江 あゆみ)

嘉数 駿 ⑧

青学大2回戦が今春季リーグの初スタメン。これまでのリーグ戦では代走や守備固めでの出場が目立っていた嘉数駿(政4)が、そのイメージを払拭する一打を放った。「来た球は全部打ってやろうと思っていた」と、気合いを入れ立った3打席目。2死三塁の場面で嘉数駿が放った打球は左前適時打となり、1点を追加。「うれしかった」と淡々と語ったが、その顔には笑みがあふれていた。

主将の岡将吾(法4)は「ずっと準備していたし、やってくれると思っていた」と、期待通りの活躍となった。走攻守を持ち合わせる嘉数駿に、これからの活躍が期待される。(堀江 あゆみ)



◆かかず しゅん/1989年12月7日生まれ。八重山商工高出身。172㌢70キ。右投右打。外野手。法学部政治学科4年。